

## 令和4年度 教職員自己評価

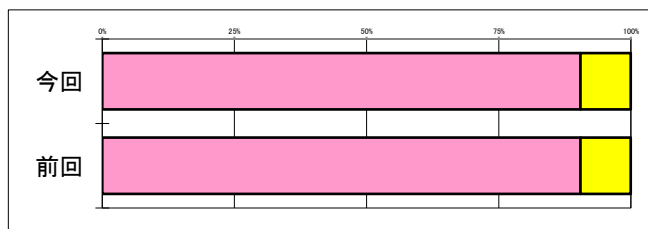
甲府市立新紺屋小学校

## I 学校運営に関して

あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
-------	---------	------------	---------

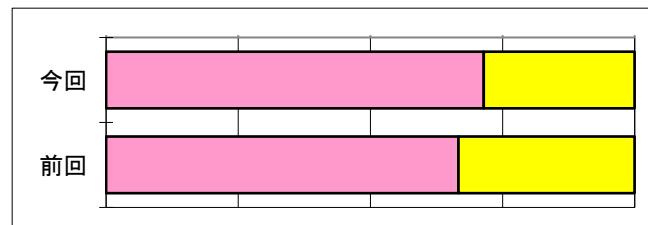
- 1 学校教育目標や経営方針(重点)の共通理解が図られている。

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
今回	19	2	0	0
前回	19	2	0	0



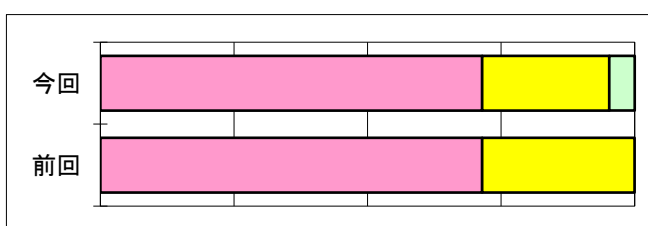
- 2 教育活動は、評価・改善(PDCAサイクル)し、次年度に生かすようになっている。

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
今回	15	6	0	0
前回	14	7	0	0



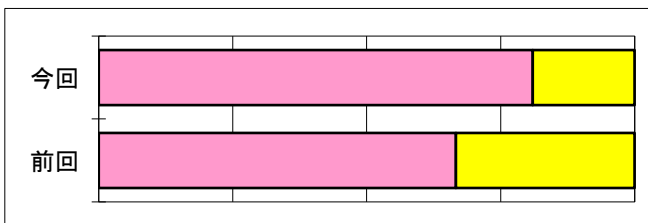
- 3 校内支援体制が整えられ、個に応じた指導が効果的に推進されている。

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
今回	15	5	1	0
前回	15	6	0	0



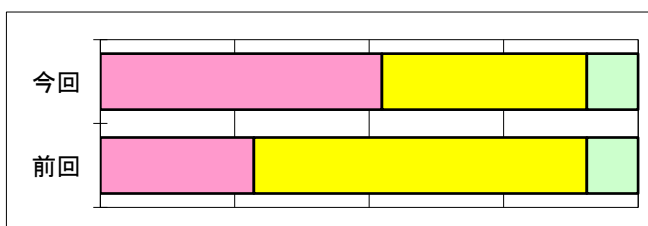
- 4 校務分掌組織は適切で、経営重点達成をめざすために機能している。

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
今回	17	4	0	0
前回	14	7	0	0



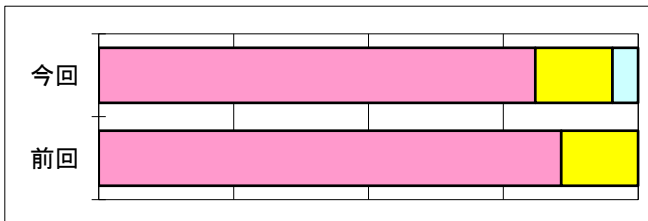
- 5 校務について見通しを持つ中で効率化を図り、働き方改革を推進している。

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
今回	11	8	2	0
前回	6	13	2	0



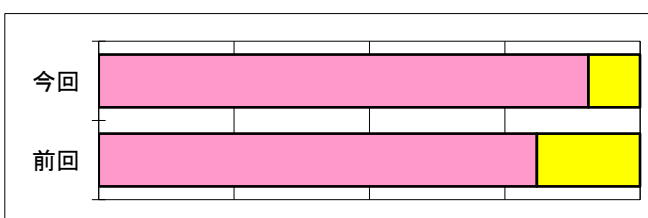
- 6 職員は研修・研究に努め、校内研究は、職員の共通理解のもと効果的に行われている。

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
今回	17	3	1	0
前回	18	3	0	0



- 7 登下校時の交通ルールや避難訓練など児童の危機意識を高める指導や安全指導を行っている。

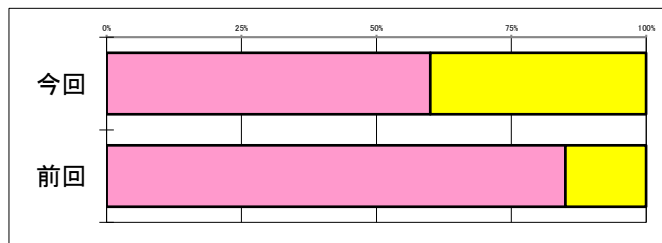
	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
今回	19	2	0	0
前回	17	4	0	0



## II 学習指導

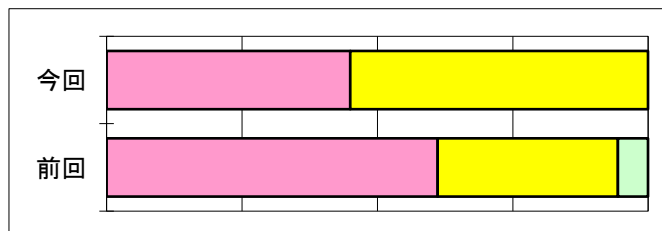
- 8 基本的な学習習慣について共通理解し、継続的に指導している。

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
今回	12	8	0	0
前回	17	3	0	0



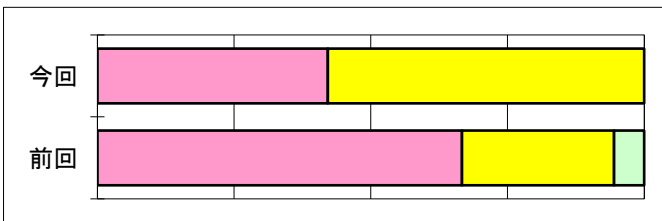
- 9 ねらいを明確にし、一人一人の発達に配慮して児童の良さや特性を引き出し、楽しくわかる授業を実践している。

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
今回	9	11	0	0
前回	11	6	1	0



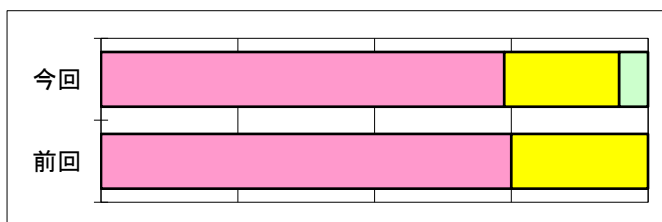
- 10 児童同士で学び合える形態や教材等を工夫し、授業改善に取り組んでいる。

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
今回	8	11	0	0
前回	12	5	1	0



- 11 読書の面白さに気づかせながら、読書に取り組めるよう指導・支援している。

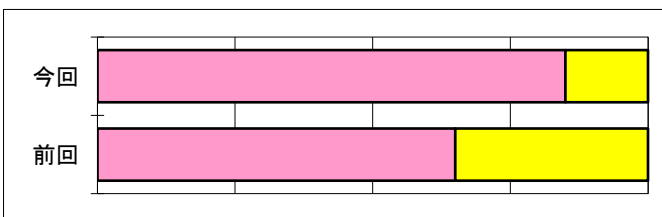
	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
今回	14	4	1	0
前回	15	5	0	0



## III 生徒指導

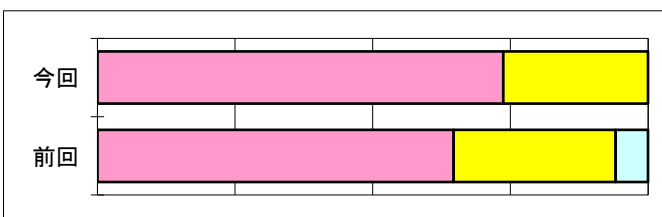
- 12 児童会活動のあいさつ運動と連動し、教師自ら日々あいさつのある生活を送っている。

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
今回	17	3	0	0
前回	13	7	0	0



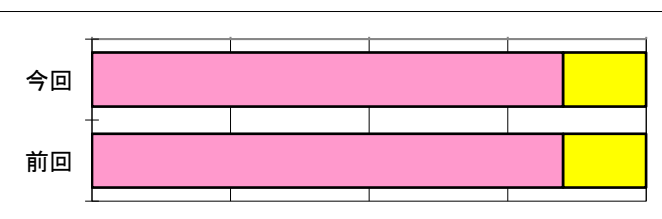
- 13 年間指導計画に従って道徳授業を実施し、思いやりの心を育てる指導を行っている。

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
今回	14	5	0	0
前回	11	5	1	0



- 14 児童の悩みや相談を聞き、いじめ・不登校・問題行動等の予防や早期発見及び速やかな対

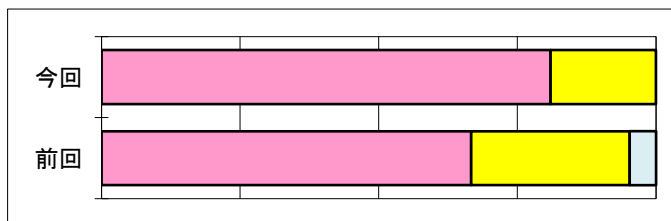
	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
今回	17	3	0	0
前回	17	3	0	0



## IV連携

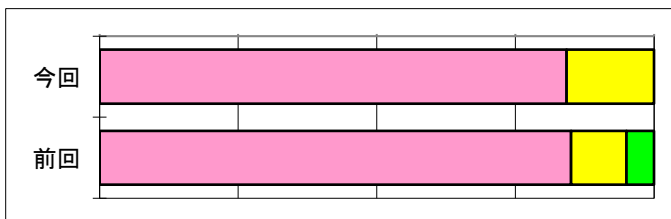
15 学校は保護者にとって連絡や相談がしやすく、適切に対応している。

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
今回	17	4	0	0
前回	14	6	1	0



16 教育活動や児童の様子をお便りやHPを通して、家庭や地域に知らせ理解を得ている。

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
今回	16	3	0	0
前回	17	2	0	1



## 自由記述

一昨年まで初任者が入ってこない中で、それぞれが自分のやり方で進めてきたことで、学習の約束などもはっきりしないままで、進めてきてしまったと思う。年度はじめに、統一するべきことを決めておかなければならないと思う。また、研究授業以外にも人の授業を見て学ぶ機会を作ったり、先進校に行って勉強しようという意欲を持てるような働きかけをしていきたいと思う。

職員会議の終了時刻が毎回退勤時刻を過ぎてしまう。終礼で済む内容の精選や提案の仕方を工夫するなどして出来るだけ時間内で終われるようにできるとよいと思う。

→ 前年踏襲でなく、内容の精選は必要である。生徒指導上の情報交流で時間が過ぎることが多いと思うが、別日に設定することも厳しい状況がある。

5の働き方改革についてですが、本校の先生方の多忙な現状を切実に感じています。また、学校に来る回数が他校に比べて多めだという保護者の声も聞いたことから提案です。学期に一回の参観と懇談という考えです。1学期は家庭訪問と7月の授業参観・学年総会。4月は授業参観なしのPTA総会のみ。2学期は授業参観なしで個別懇談のみ。PTA役員選出が必要であれば、場所だけ提供して集まって決めていただく。3学期は2月に授業参観・学年総会。運動会や作品展、専門部の活動等でも来校の機会があるので、保護者と職員の両方の負担軽減になるのではないのでしょうか。

→ できる限り抱き合わせにして保護者の来校を絞ってきている。また、近年、コロナにより地域との関わりはほとんど実施されていないが、コロナ以前でも、地域行事には役割分担をして負担軽減に努めていた。開かれた学校の実現からも、授業参観は保護者は必ず来なければならないわけではなく、どちらかという観てもらう機会は増やした方がよい。日々授業をしているわけであるのでいつでもという考えはもちつつ、そうはいつでも観てもらうための授業は実際準備が必要と考ええると、現状で良いのではないかと考える。来年度からCSになることもあり、これ以上減らしていく

自己研鑽のため、他の先生方の普段の授業や学級経営を参観させていただきたいと思っておりますが、単級で補欠体制が取りにくいこともあり残念に思っていました。最近、考慮していただけるようになり、大変勉強になっています。

→ 低中高のそれぞれの中で、お互いに見合うことをできたらと思う。



